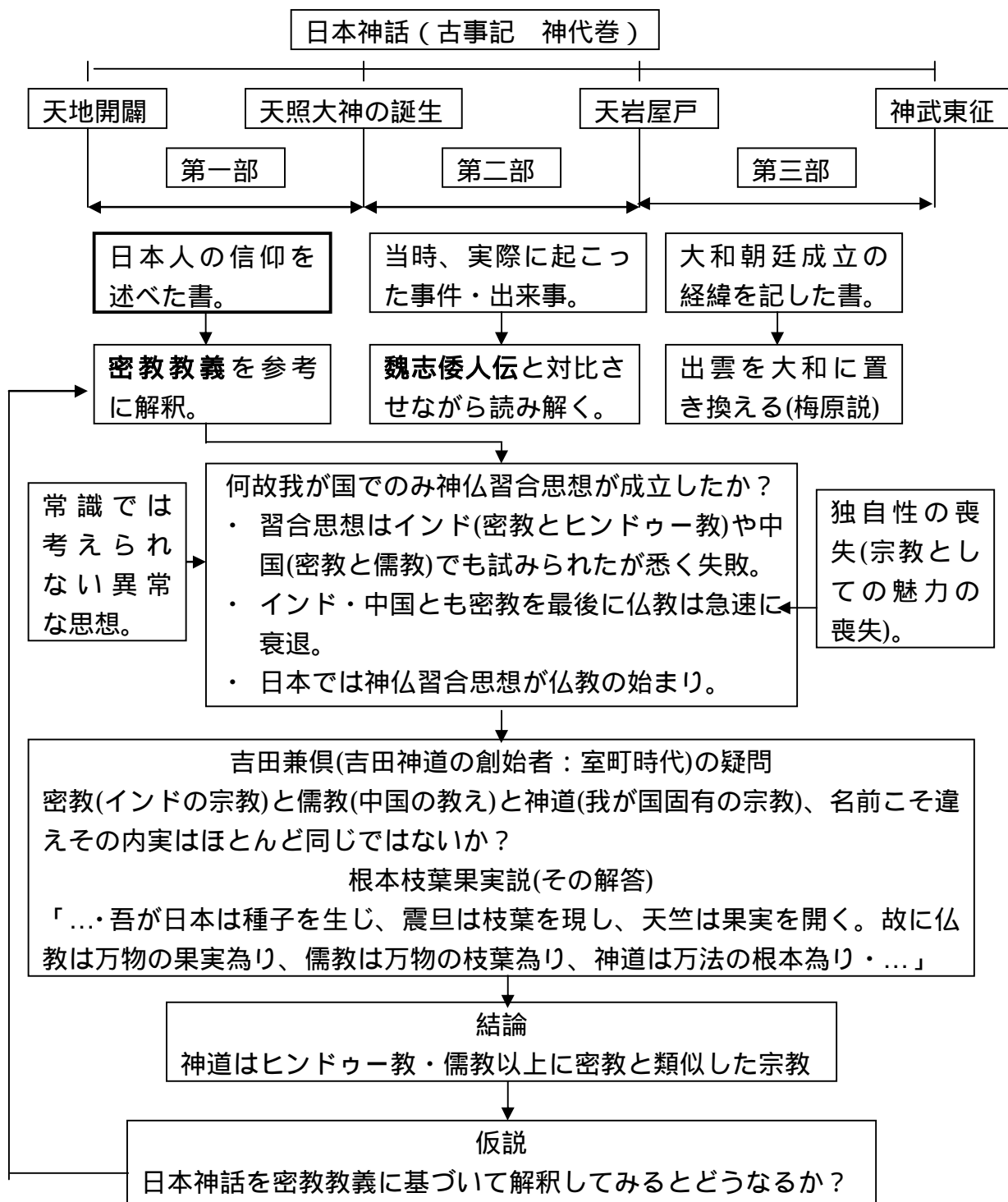


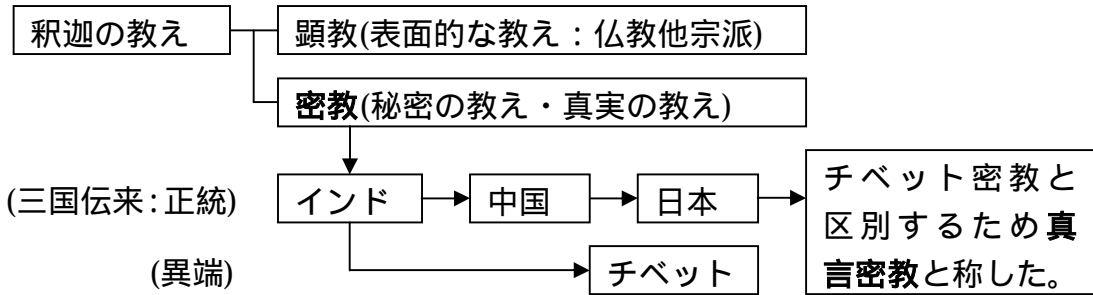
# 神仏習合思想

## (1) 日本神話まとめ

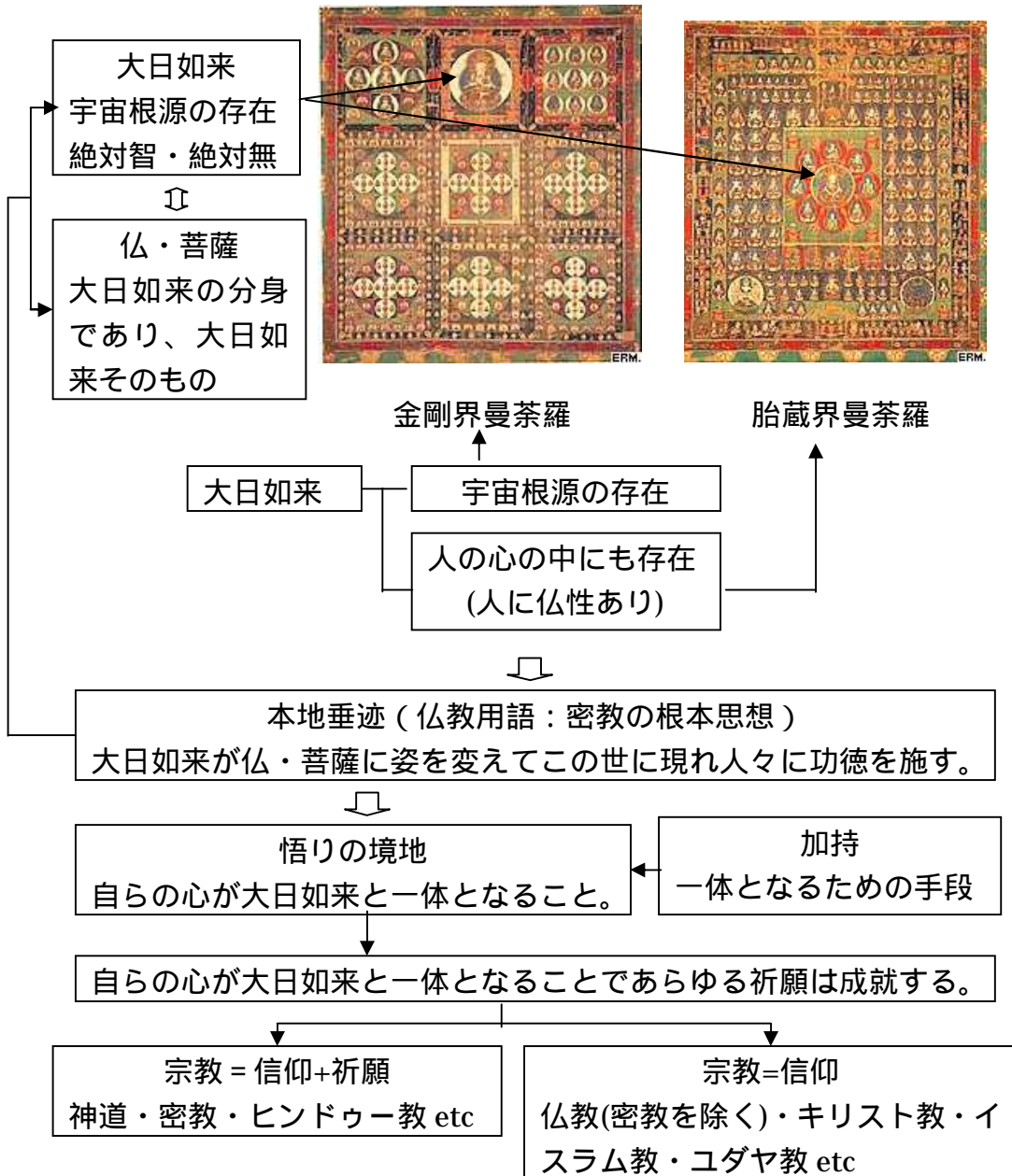


(2) 密教とは？

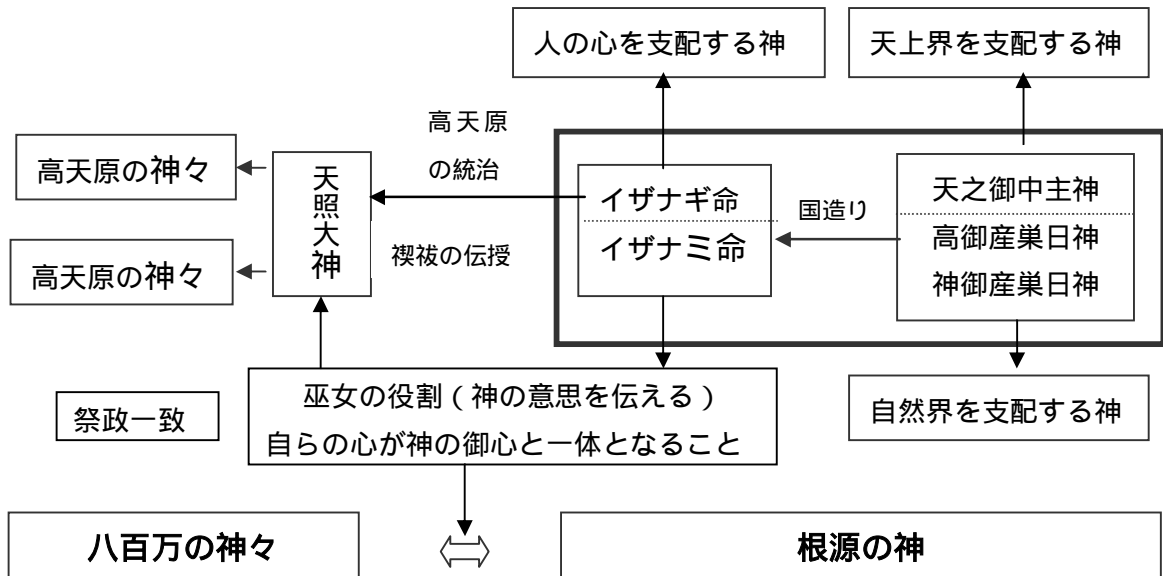
密教の定義



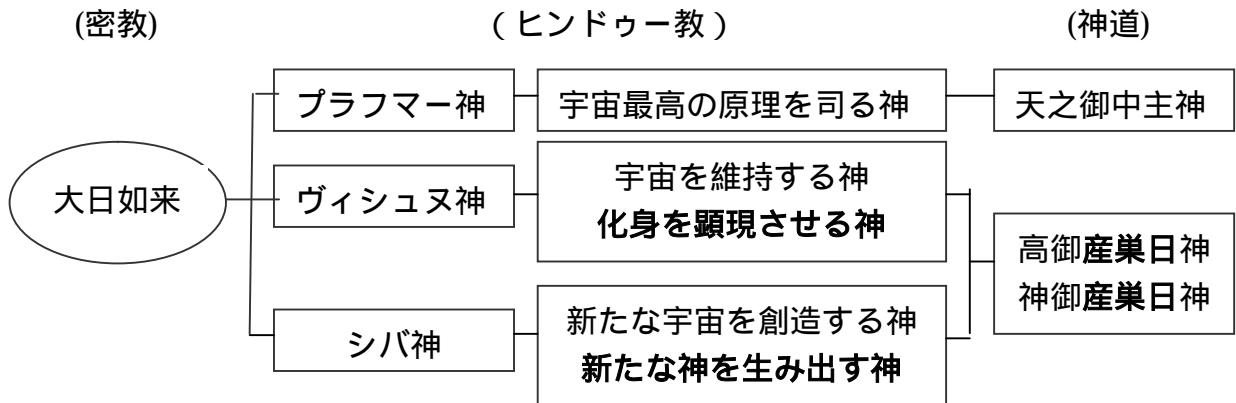
曼荼羅 (大日如来を中心とした仏の世界：密教の根本理念)



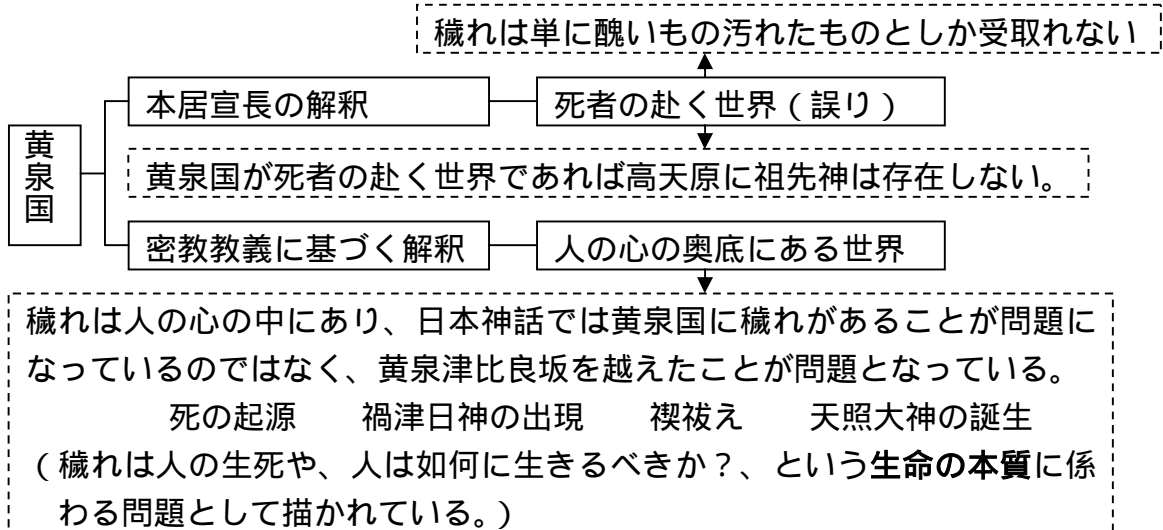
日本神話に描かれている神々の世界



ヒンドゥー教と神道



黄泉国はどこにあるのか？



### (3) 神仏習合思想とは？

#### 最澄と空海の逸話

最澄と空海は 804 年同じ遣唐使船で渡唐している。

	留学期間	身分	(国の定めた) 留学目的
最澄	1 年	エリート留学生	比叡山に天台・密・禅・律四教兼学の道場を開くために必要な経典や仏具類の収集。
空海	20 年	一般留学生	20 年かけて仏教を極める。



最澄	桓武天皇の 1 日も早く仏教を修め、奈良仏教とは異なる新たな仏教の礎を築いてもらいたいという強い期待が込められていた。
空海	密教の経典や仏具類を収集し、加持祈祷の裏付けとなる漢方医学や治水術を学ぶと僅か 2 年で帰国してしまった。



最澄	帰国後、空海から密教を学び、高尾山で灌頂を受ける。つまり、当時最新の仏教であった密教に対する勉強不足を痛感した。
空海	最初から密教を学ぶことを目的に渡唐。漢方医学や治水術まで学んでいたということは渡唐前から相当周到な計画が練り上げられていた。



最澄	東大(奈良仏教)に代わる京大(新しい仏教)を比叡山に作ろうとした。
空海	広く民衆に仏教を布教しようとした。

#### 空海が最澄に宛てた絶交文

たびたび経典類を借りに来る最澄に対して  
 あなたは密教を書物(経典)の中でしか捉えようとしていない、密教とはそのようなものではありません。もし本当に密教を学びたいのなら一から始めなさい。あなたにその気があるのなら、私もその気でお手伝いしましょう。

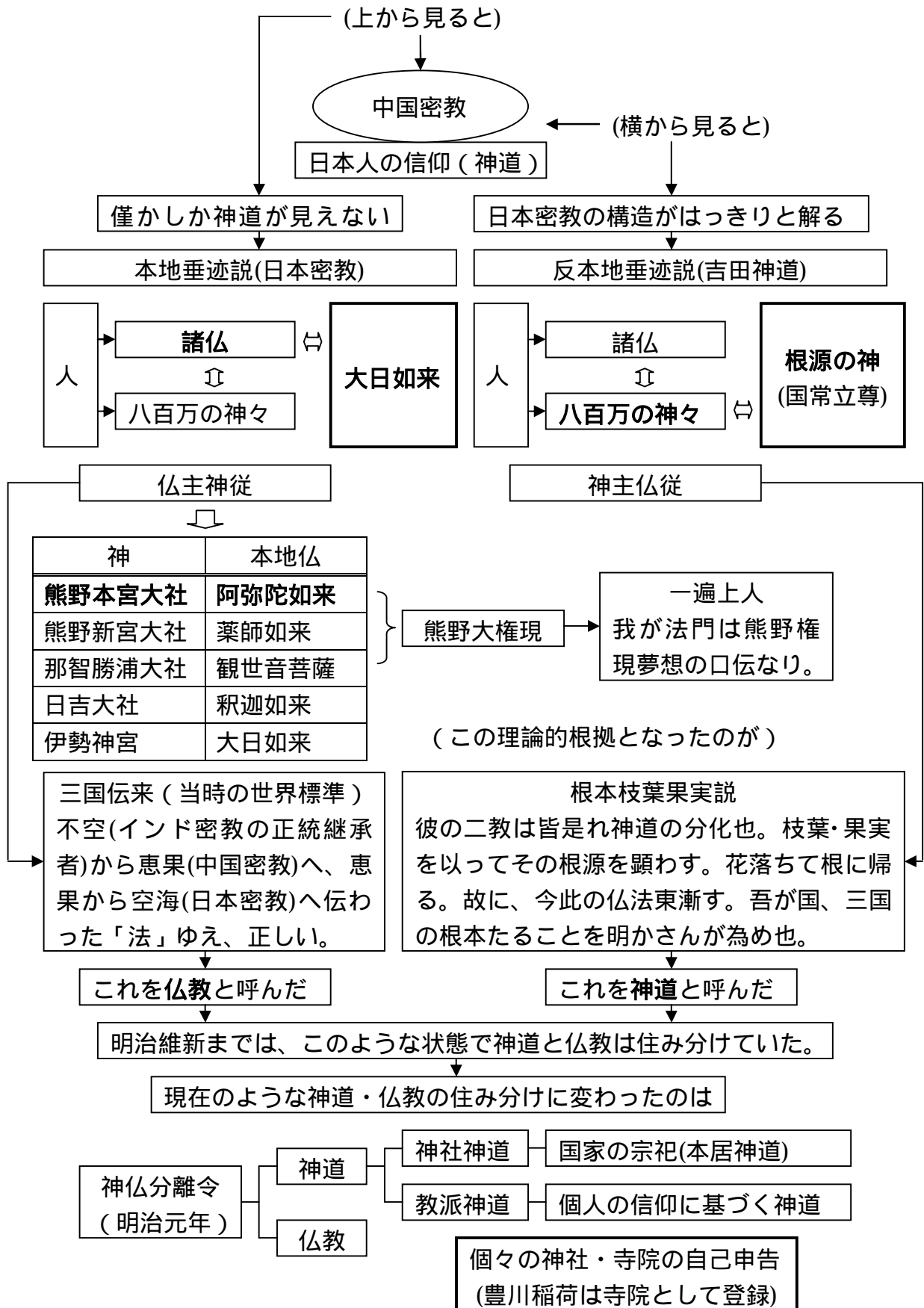
#### 奈良仏教批判

最澄	腐敗・墮落(政治に介入するなど仏教徒の本来の姿ではない)。
空海	中国の思弁的仏教(経典類を中心とした仏教)をいくら極めても日本人は受け入れない(奈良仏教は日本人の信仰を無視している)。

#### 空海の考えていた密教

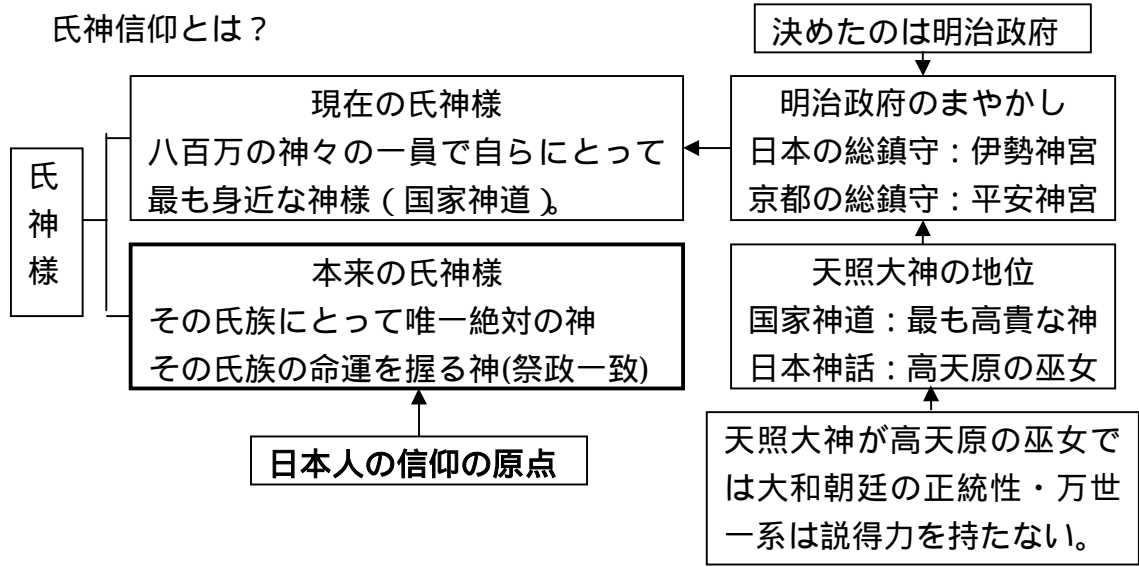


# 日本密教の構造

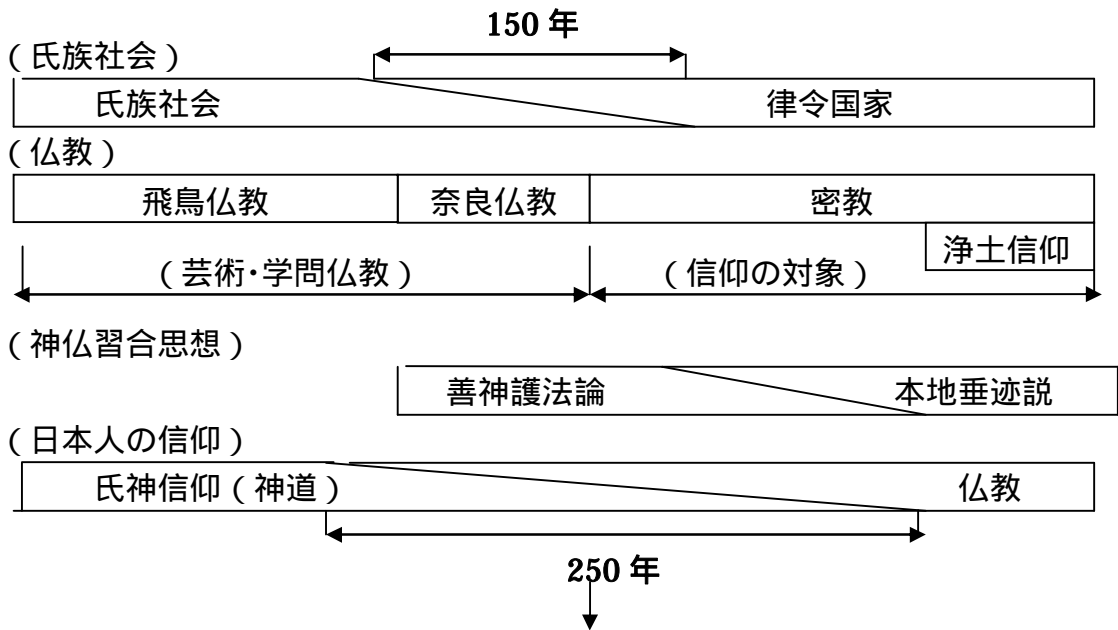
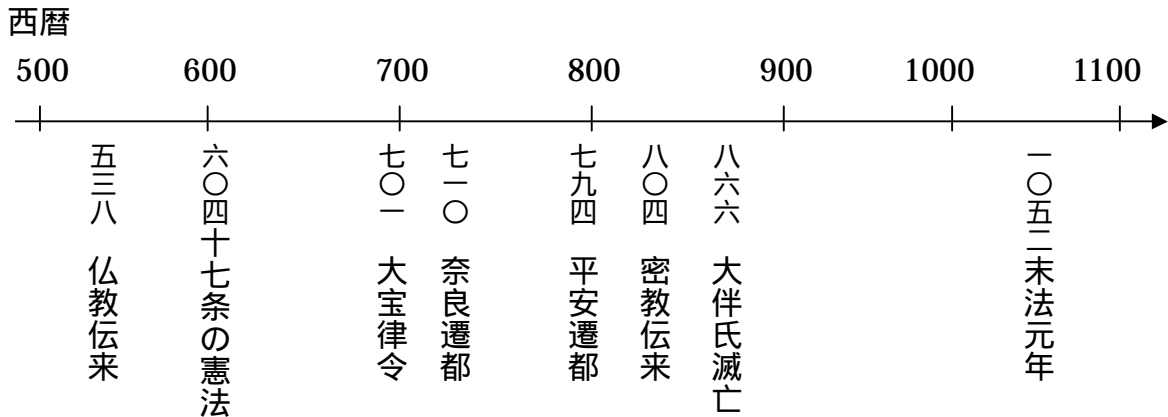


(4) 氏神信仰の変遷

氏神信仰とは？



(氏族社会の崩壊と密教の伝来)



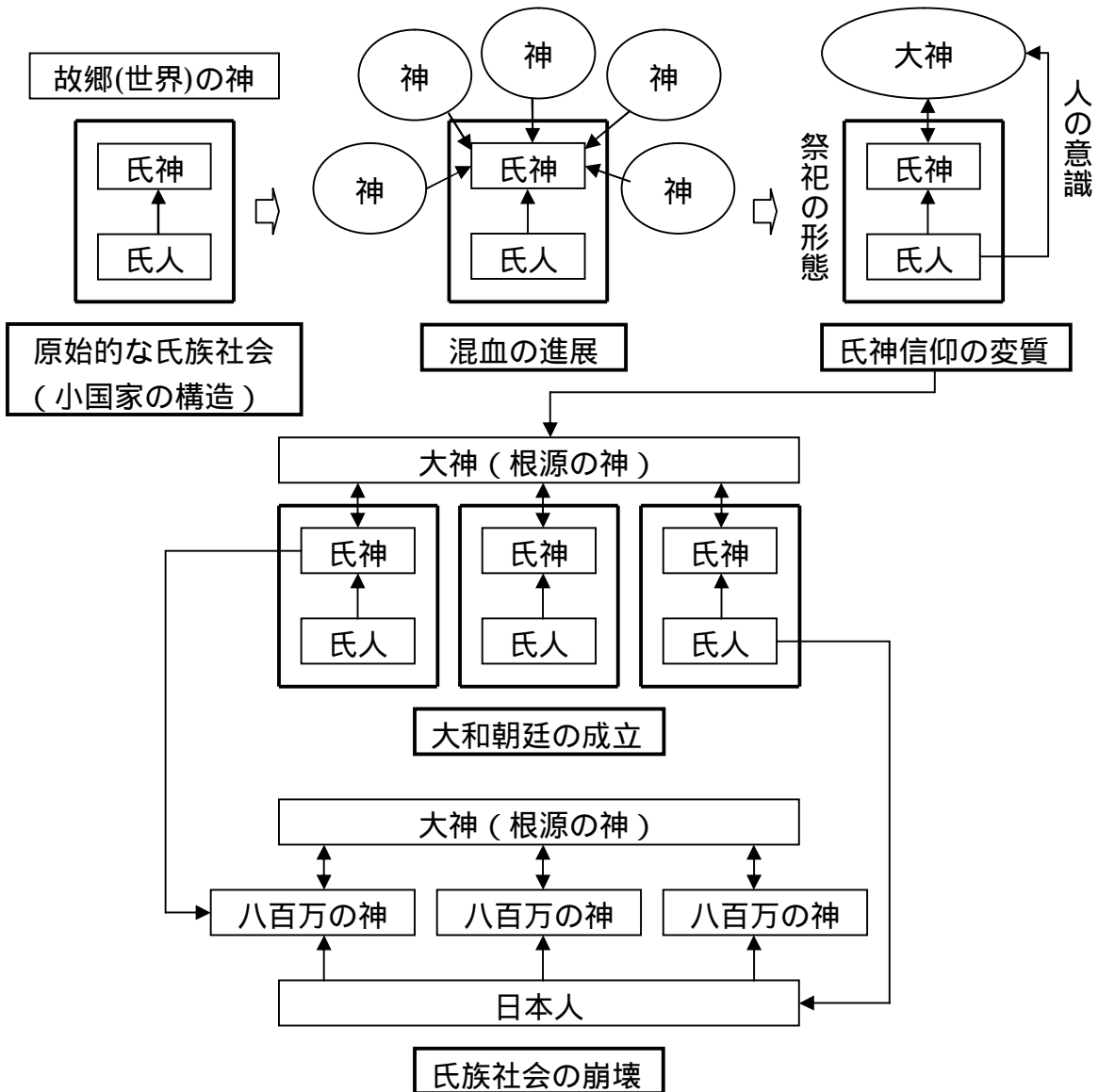
この間、神道と仏教の間に論争や抗争は全くなかった。一方、奈良仏教と平安仏教（比叡山）の間では度々激しい論争が繰り返されており、最澄は人生の大半をこの論争に費やした。

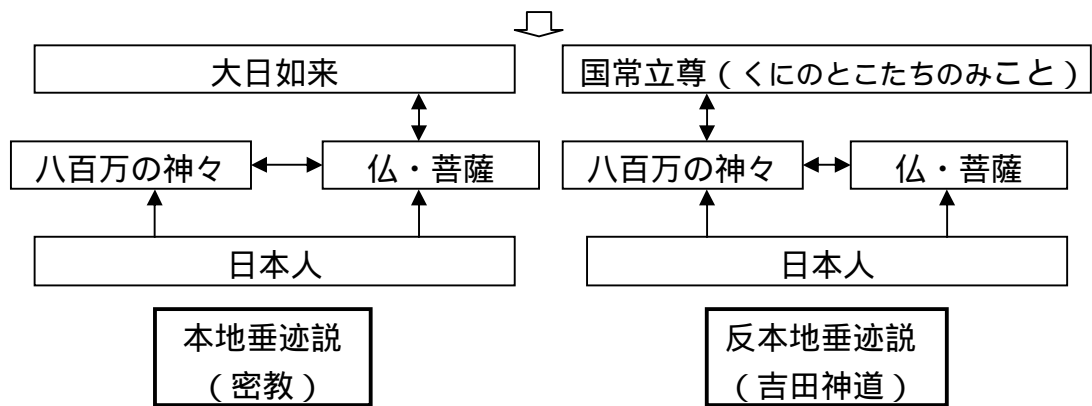
これは日本人が神道から仏教へと改宗したのではなく、氏族社会の崩壊の過程で氏神信仰が徐々に密教信仰へと変質していったことを示している。

つまり、末期の氏神信仰は密教信仰とほとんど変わらない信仰だったと考えられる。

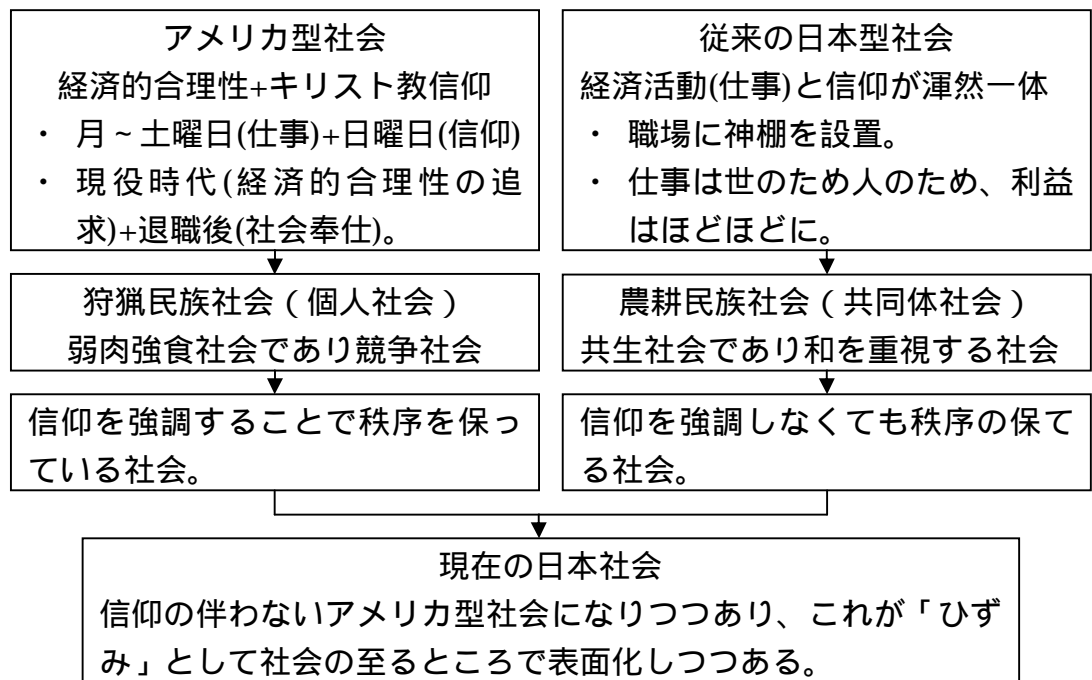
だから、神仏習合思想が成立した。

社会が変われば信仰も変化する  
 （日本人の信仰の変遷）

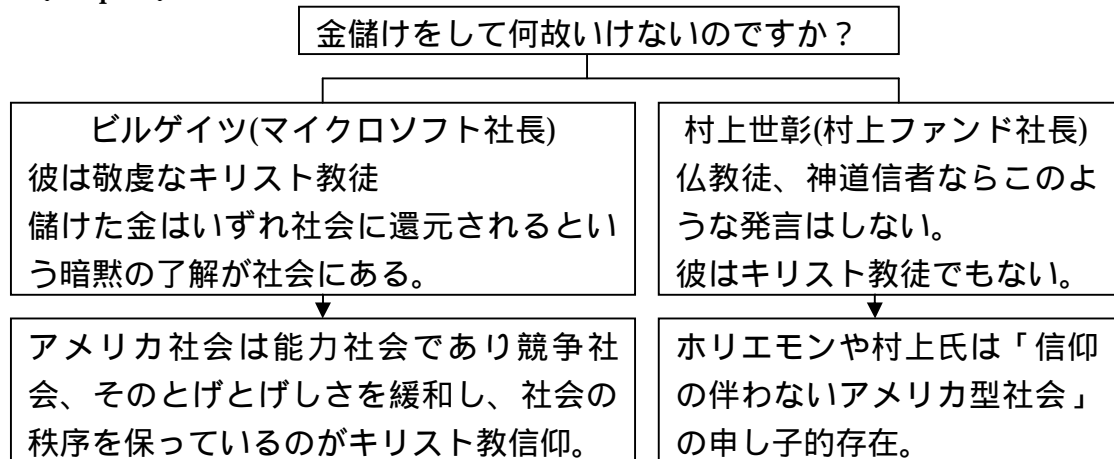




( 5 ) 信仰の喪失と社会の歪み

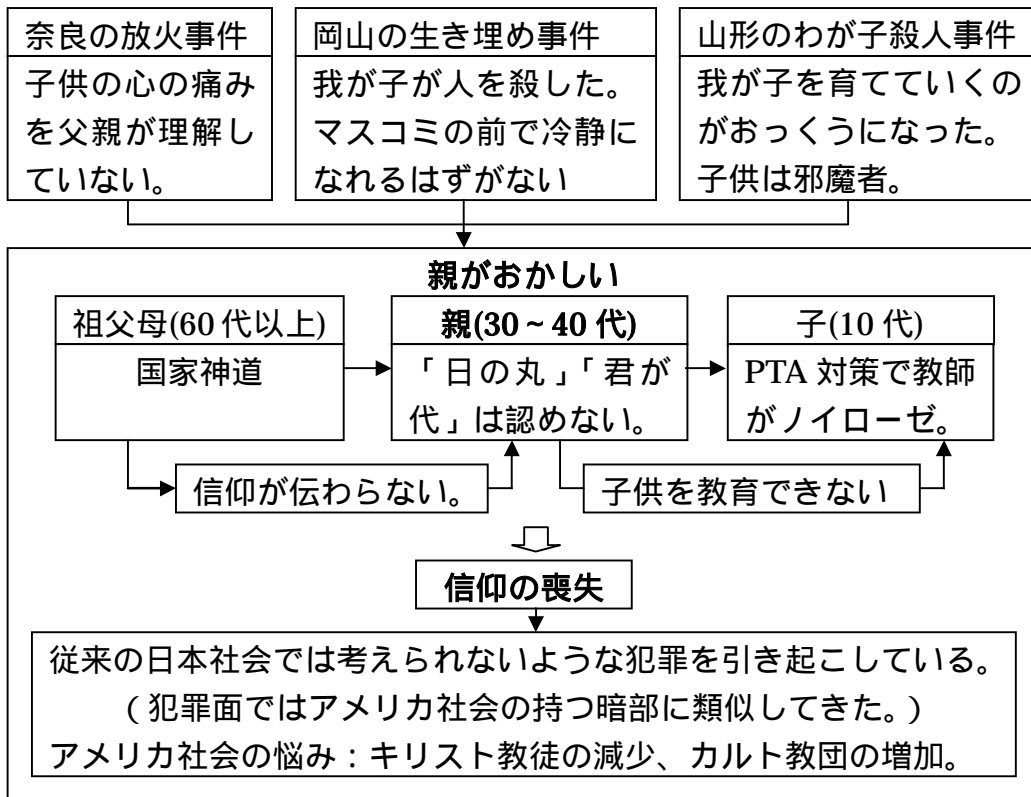


( Exp 1 )





( Exp 2 )



# 神道講座テキスト (第6回)

平成18年9月3日(日)

新熊野神社